



SL88 GRAND SL88 STUDIO SL73 STUDIO



オペレーションマニュアル **J**

重要安全事項



本マニュアルには本機を使用するために必要な情報が含まれています。安全にご使用いただくために、ぜひご一読ください。

本マニュアルの手順に従ってください。不適切な使用による故障は、保証の対象外となります。付属品につきましては、メーカーが指定するもののみをご使用ください。



危険！

感電の危険を伴うためシャーシを開けないでください。内部にはユーザーご自身が修理できる部品はありません。

本機の修理につきましては、資格のある専門サービススタッフにご依頼ください。



湿度

火災や感電の危険を低減するために、本機を雨や湿気にさらさないようにご注意ください。本機の上には、液体の容器を置くことはおやめください。水やスイミングプール、バスタブまたは湿った地下室の近くでの本機の使用はおやめください。本機を寒い場所から暖かい部屋に移動した場合、内部に結露が発生することがあります。損傷を避けるために、室温に達してから本機の電源を入れてください。



設置

キーボードの配置については、必ず安定したラックまたは面を使用し、またその大きさと重さに注意してください。

クリーニング/メンテナンス

表面に損傷を与える可能性のある、研磨剤洗剤の使用はお控えください。クリーニングには、少し湿ったマイクロファイバーの布をお奨めします。

包装

箱とすべてのパッケージを保存し、輸送または修理が必要な場合には、機器を保護するために使用してください。



電源

電源に接続する前に、電源が本機に適しているかどうかを確認してください。本機は、付属の電源アダプターを使用して、100～240VACの電力供給によって動作します。

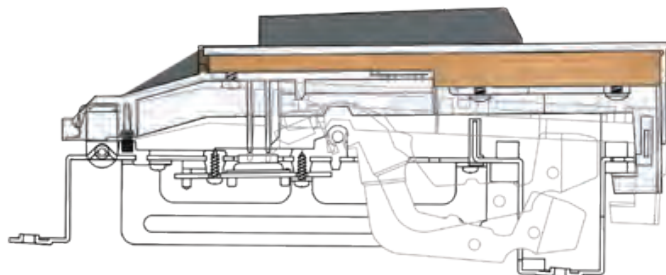
安全上のご注意	2	
目次	3	
SL シリーズについて	4	キーボード
	4	ゾーン
	4	本製品に含まれるもの
	5	SL シリーズについて
電源 - 入力と接続	6	電源の接続
	6	入力
	6	MIDI IN/OUT
	6	USB
コントロールパネル	7	コントロールパネル
	7	プログラマブル・スティック
パラメーターの設定	8	ホーム画面
	8	プログラムの選択と編集
	10	プログラマブル・グループ
	11	ゾーンの編集
	12	プログラマブル・スティック
グローバル設定	13	グローバル/システム
ファームウェア管理	15	ファームウェア・アップグレード
	15	SL Editor
製品保証	16	保証について
付録	17	製品仕様
	17	サイズ
	17	製品サポートについて

この度は SL シリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機は、Studiologic 製の最先端の技術を詰め込んだプロ仕様の機器です。本機では、大型カラーディスプレイや、ナビゲーション・コントロールのメインエンコーダーとクリックにより、簡単に操作することができます。またユーザーの繊細な演奏を表現するための完璧なキーボードタッチを提供しています。SLシリーズのすべての機能をフルに活用するためにも、まずは本マニュアルを一読することをお奨めします。本マニュアルは、構造や詳細な編集の一般的な説明はさておき、本機と関連するコントローラーを簡単かつ、迅速に理解するためのクイックガイドとしての役割に主眼を置いて作成されています。また、公式サイトからダウンロード可能なコンピューター用エディターでは、より柔軟でユーザーフレンドリーなインターフェイスを提供しています。

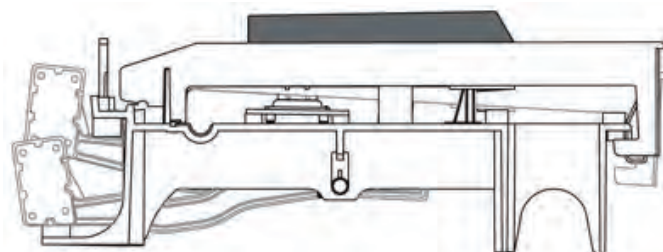
それでは、SL シリーズの機能概要を見てみましょう。

キーボード

SL88 Grand では、グレードハンマーアクション・キーボード TP/40 ウッドの木製鍵盤を、SL88/73 Studio では TP-100 LR をそれぞれ採用し、各鍵盤は 3 つの接点とアフタータッチ機能を備えています。



TP-40 WOOD



TP-100 LR

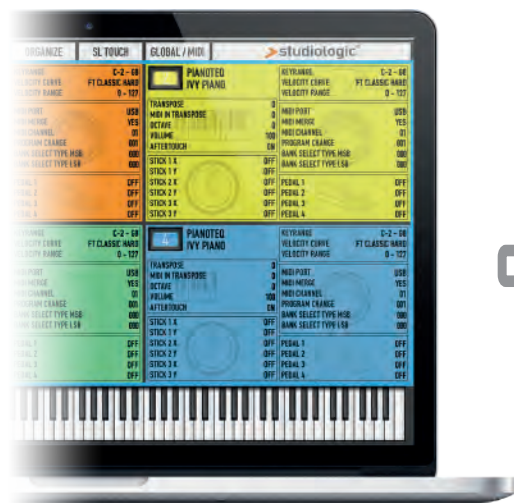
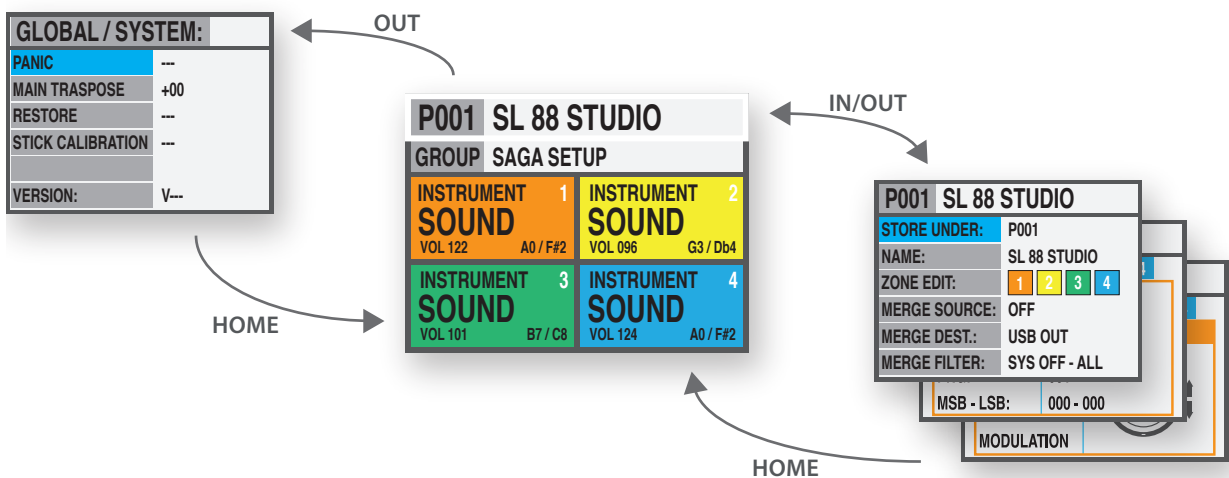
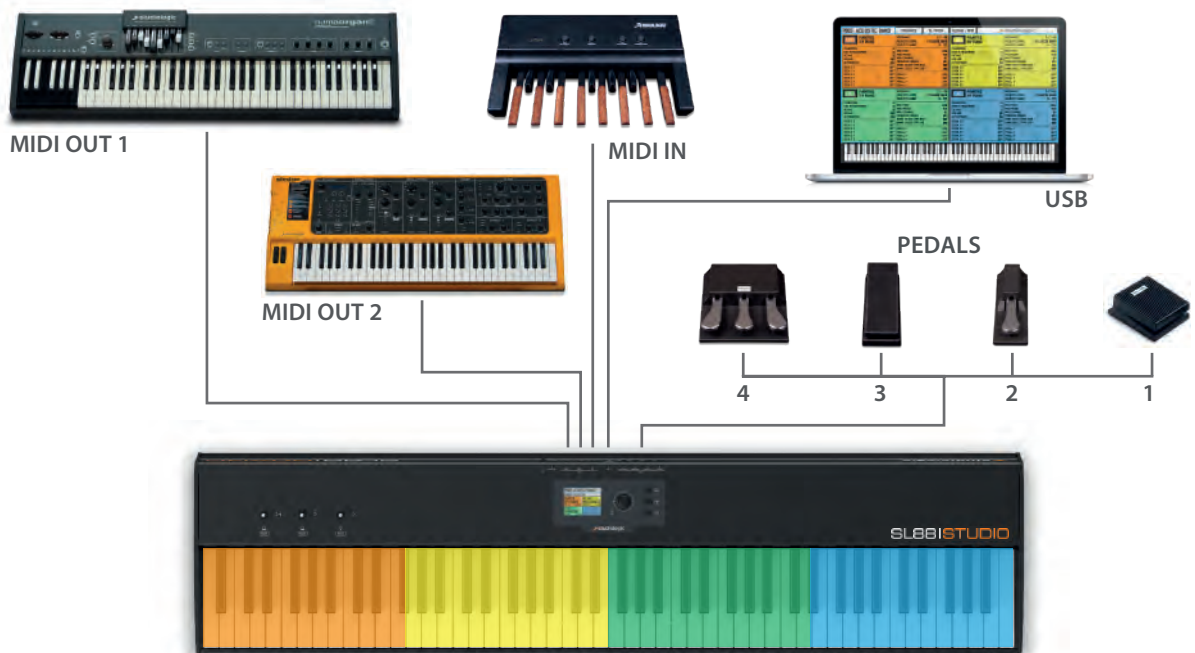
ゾーン

キーボードは、4 つのプログラム可能なゾーンに分割することができます。各ゾーンの鍵盤の範囲を定義し、幅広い設定やコントロールと共に、どのベロシティ・レベルでその MIDI データを送信するかを選択することができます。

各ゾーンには、別のポートを割り当てることができ、新しいプログラム可能なスティックは、各ゾーンの異なる MIDI パラメーターを制御することができます。

本製品に含まれるもの

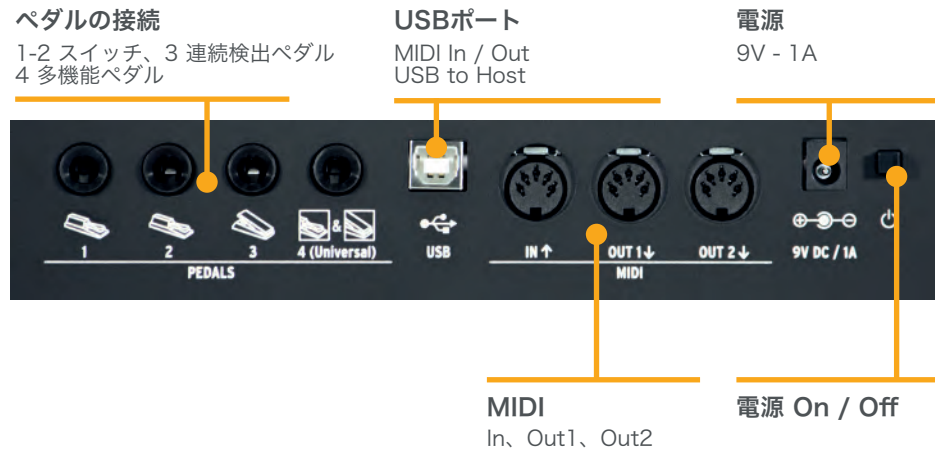
- ・ SL88 Grand / SL88 Studio / SL73 Studio
- ・ 電源アダプター
- ・ VFP1-10 / PS100 ペダル
- ・ オペレーションマニュアル (本冊子)
- ・ Operation Manual (CD-ROM)
- ・ 保証書



プロジェクト

ライブラリ	グループ
PROGRAM 001	GROUP 01
PROGRAM 002	GROUP 02
PROGRAM 003	GROUP ...
PROGRAM ...	GROUP 12
PROGRAM xxx	

電源 - 入力と接続



安全を確保しながら簡単にアクセスすることができるよう、すべての端子は機器の背面に配置されています。

電源の接続

機器の背面ソケットにアダプターのプラグを挿入し、機器の電源を入れます。



注意：

アダプターは、必ず（ボックスに含まれている）付属のものを使用してください。

入力

アサインابل・ペダルの接続：

- 2 系統のスイッチペダル
- 1 系統の連続検出ペダル
- 1 系統の多機能ペダル

1 と 2 には、（関連する機能のための）スイッチペダルを接続することができます。また 3 は、ボリューム/エクスプレッションペダル専用となっており、4 には特殊なマルチプラグで互換性のあるペダルの一つを接続します。

MIDI IN/OUT

MIDI 接続を使用すると、任意の外部 MIDI デバイスを制御したり、または（ノート、プログラムの変更などの）関連データの送信用として、SLをその他の外部MIDI機器に接続したりすることができます。

USB

USB（ユニバーサル・シリアル・バス）もまた、（コンピューターなどの）外部デバイスと接続することができ、ファームウェアの更新や、MIDI 接続の（IN/OUT）確立を行うことができます

本機が USB 経由でコンピューターに接続されている場合、SL Editor を使用して、非常に迅速かつ直感的に本機すべての設定を行うことができます。またこれには、本体のみでは編集することのできない、個々の鍵盤のペロシティー感度設定を行うキーボードバランス機能や、黒鍵と白鍵のバランスパラメーターが含まれます。

コントロールパネル



エンコーダー

データ入力 (回転)
ナビゲーションコントロール (左/右/上/下)
クリック (入力)

プログラマブル・スティック



SL シリーズのコントロールパネルは、技術とユーザーフレンドリーなレイアウトの集大成であり、以下のコンポーネントから構成されています。

- 1 基の大型カラーディスプレイ (LCD 320×240)
- 1 基のクリック (入力) 機能付き回転式エンコーダーと 4 方向スイッチ (上 / 下 / 左 / 右)
- 3 基のメインボタン:HOME(メインビューへ戻る) - (全ページ内をナビゲートするための)IN&OUT ボタン
- 3 基のプログラマブル・スティック .

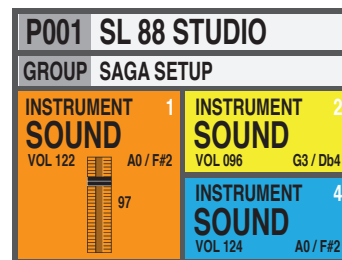
すべての編集ページへのアクセスは、(アップ/ダウン・エンコーダーの上/下方向スイッチ、IN または OUT を使って) 同じように選択することができます。本機では、片手ですべてのページと機能に瞬時にアクセスでき、目的の機能に到達すると、エンコーダーを回転させて (右 = 増加 / 左 = 減少)、その値を変更することができます。

ホーム画面

メインページ（ホーム）では、主な機能を非常に明確かつ完全に表示します。

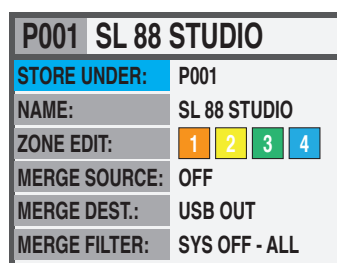


ゾーンを選択したら、エンコーダーを回転してボリュームをコントロールすることができます。(0~127)



プログラムの選択と編集

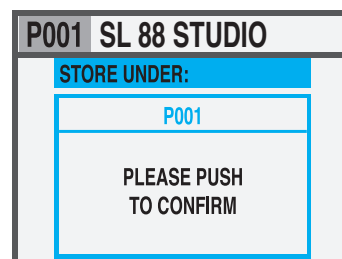
プログラムを選択するには、エンコーダーを回転（ダイレクト選択）するか、エンコーダーをクリックした後、回転して選択、クリックして確認します。
(カーソルを画面上部へと移動して) プログラムを選択したら、IN を押して **Program Edit** へと入ります。



Program Edit では以下のパラメーターを設定できます。

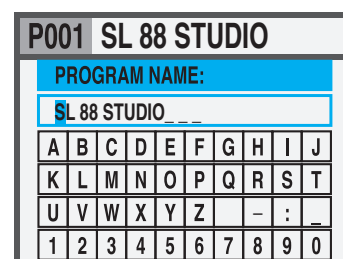
STORE UNDER

現在のプログラムを保存する位置を選択します。



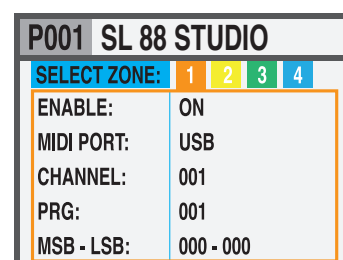
NAME (名前)

現在のプログラムに名前を付けるには、エンコーダーの位置コマンド（左／右 - 上／下）を使用し、お望みの文字／数字を選択したらエンコーダーをクリックします。文字／数字領域へカーソルを移動してエンコーダーをクリックして選択するか、エンコーダーを回転して文字や数字を選択することができます。



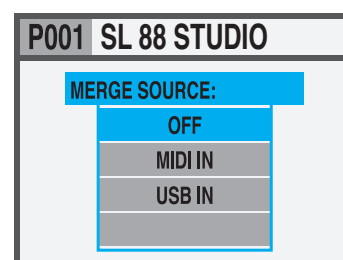
ZONE EDIT (ゾーン編集)

(13 ページを参照してください)



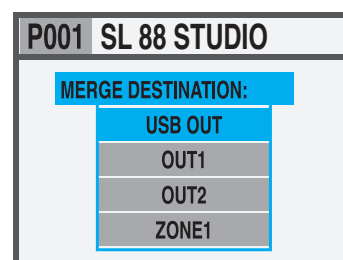
MERGE SOURCE (ソースの併合)

マージするソース（MIDI IN または USB）を選択して DESTINATION へマージします。



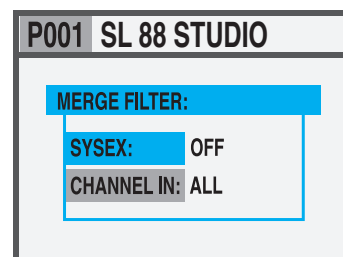
MERGE DESTINATION (併合先)

全てのマージされた MIDI データの行き先を選択します。



MERGE FILTER (併合フィルター)

ソースから行き先へマージする際に、特定の MIDI メッセージをフィルタリング（除外）します。



J

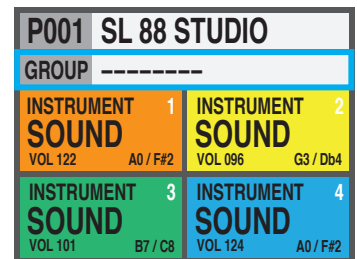
プログラマブル・グループ

本機では、特定の作業や、曲またはプロジェクトに対応するプログラムを、グループで整理するための特別な機能を提供しています。プログラムは、複数のグループと関連付けることができ、複数のプロジェクトで使用される場合に、内蔵メモリーの最適化と、プログラムの複製を回避することができます。

利用できるグループの数は、12 あります。グループを選択またはプログラムするには、エンコーダーでグループセクションを選択します。次に、エンコーダーをスクロールして目的のグループを選びます。すると、選択したグループのプログラムのみがグループに格納された順序で表示されます。

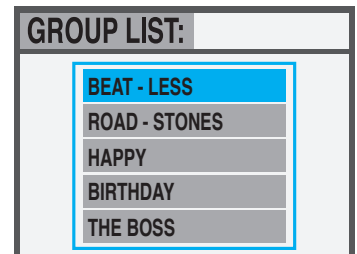
注意

画面上に、GROUP ----- と表示される、空の位置にグループを設定すると、いつでもグループの選択をスキップすることができます。

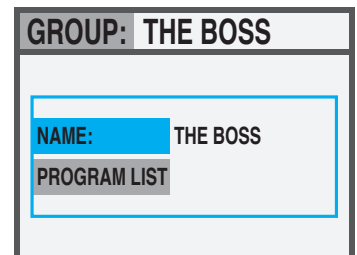


新しいグループの作成、既存のグループの編集方法

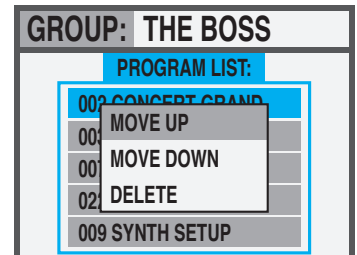
エンコーダーを上下に移動してリスト内のグループセクションを選択したら、IN ボタンを押します。IN を押すとグループエディットページへ入ることができます。



グループ名と関連するプログラムの編集ができるようになりました。関連するプログラムを編集するには、PROGRAM LIST を選択し、IN を押します。

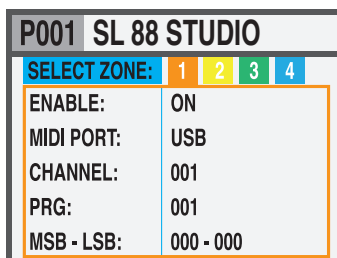


プログラムの追加または変更をグループに対して行うには、MOVE UP、MOVE DOWN または DELETE を行うためのポップアップメニューを開きます。



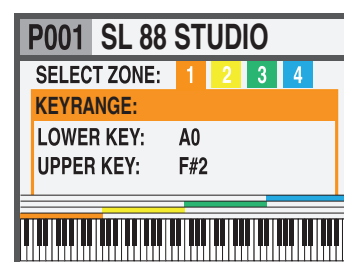
Zone Edit (ゾーンの編集)

Zone Edit に入るためには、1つのゾーンが選択されている状態で IN ボタンを押します。また、エンコーダーを左右に操作して他のゾーンを選択することもできます。パラメーターリスト上から IN を押すか、エンコーダーを回転するか、またはカーソルを右へ移動し、パラメーターの変更を有効にします。

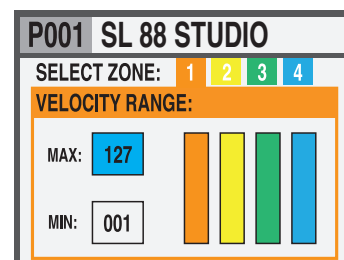


Page 1	ENABLE	選択したゾーンの有効化、無効化
	MIDI PORT	USB、MIDI 1、MIDI 2 の中から関連する出力ポートを選択します
	CHANNEL	001 - 016
	PROGRAM	001 - 128
	MSB - LSB	000 - 127 (両方)
Page 2	VOLUME	000 - 127
	KEY RANGE ¹	A0 - C8
	VELOCITY RANGE ²	000 - 127
	VELOCITY CURVE ³	SOFT/NORMAL/HARD、USER (1-6)、FIXED (値 001-127)
Page 3	AFTERTOUCH	OFF/ON
	TRANPOSE ⁴	-12 / +12 セミトーン
	OCTAVE	-3 / +3
	PEDAL 1	(選択可能な機能)
Page 4	PEDAL 2	(選択可能な機能)
	PEDAL 3	(選択可能な機能)
	PEDAL 4*	(特別な機能)
	STICK 1 X	(選択可能な機能)
Page 5	STICK 1 Y	(選択可能な機能)
	STICK 2 X	(選択可能な機能)
	STICK 2 Y	(選択可能な機能)
	STICK 3 X	(選択可能な機能)
Page 5	STICK 3 Y	(選択可能な機能)
	INSTRUMENT NAME	
	SOUND NAME	

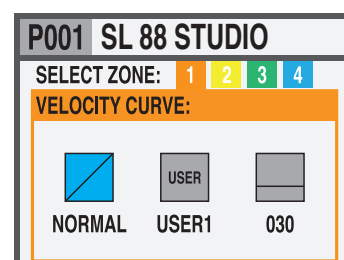
* ペダル 4 は、利用可能なすべてのパラメーター (スイッチおよび連続) を制御するようにプログラムすることができますが、1つの端子で最大 3 つのペダルを持った特殊なマルチペダル (SLP3 GRAND、NTP など) と接続するように設定することもできます。典型的な使用例としては、ピアノのトリプルペダルが挙げられます。第 3 ペダルでハーフペダル・ダンパー機能を制御しながら、第 2 ペダルでソフト/ソステヌートの機能を制御することができます。



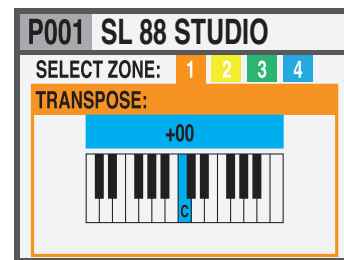
1 キーレンジ



2 ペロシティレンジ



3 ペロシティカーブ



4 トランスポーズ

Zone Edit (ゾーンの編集)



ゾーンに特殊なマルチペダルのいずれかを割り当てた場合、他のゾーンは、OFF、または同じ種類のペダルに設定することができます（他のすべての機能はグレーで表示されます）。

ゾーンは、3つの状態があります：ON/OFF/Standby

ゾーンを有効化/無効化するには、IN を押して、オンまたはオフに設定します。ゾーンが OFF の場合は、色付きの背景のみが表示されます。エンコーダーをクリックすると、ゾーンをスタンバイに設定することができます、ディスプレイはグレーで表示されます。

(左図は、ゾーン 1 がオン、ゾーン 2 がスタンバイ、ゾーン 3 と 4 はオフに設定されていることを示しています)

(プログラムで) 無効化されているゾーンのすべてのパラメーターを設定できることに注意してください。これにより事前にプログラムされたパラメーターを使用して、任意の時点でゾーンを有効にすることができます。

プログラマブル・スティック

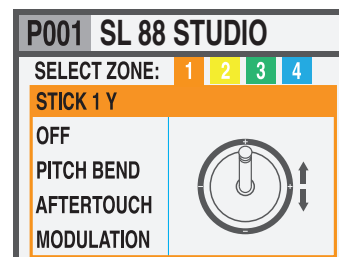
本体左側の 3 スティックは、プログラマブル・リアルタイムコントローラーです。

- **スティック 1** は、Y 軸、X 軸の両方にスプリングを有しており、スティックを離すと自動的にゼロ位置に戻ります。典型的な使用例としてはピッチベンド機能を挙げることができるでしょう。
- **スティック 2** は、Y 軸にバネを持っており、自動的に Y 軸の中央に戻ります。使用例としては、バーチャルシンセサイザーのいずれかの種類を制御する場合のモジュレーションやフィルターのカットオフ用などが考えられます。
- **スティック 3** は完全にフリーとなっています。任意の値に設定する必要があるすべてのパラメーターを制御することができ、X 軸と Y 軸共に、移動位置を保持します。

スティックのプログラム方法

ゾーンを選択したら、IN ボタンをクリックして編集モードへと入ります。エンコーダーの垂直方向スイッチをスクロールして、編集したいスティックプログラムの関連ページを見つけます。

スティックの 1 つを選択して、再び IN を押すと、水平軸と垂直軸両方の利用可能なスティックの機能が、リストされているプログラミングページへ入ります。

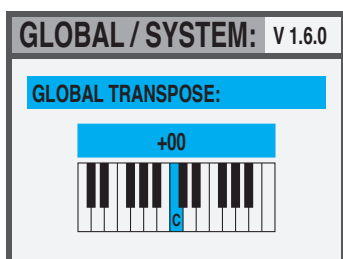


GLOBAL / SYSTEM (グローバル / システム)

HOME ページで OUT ボタンを押して、GLOBAL/SYSTEM ページへ入ります (注: HOME を押すとメイン画面に戻ります)。

GLOBAL / SYSTEM: V 1.6.0	
MAIN TRASPOSE	+00
PANIC	
RESTORE	
STICK CALIBRATION	
PROGRAMS +/-	PED 1/2 (EXT)
COMMON CHANNEL	16

以下の設定を行うことができます。



MAIN TRANSPOSE (メイン・トランスポーズ)

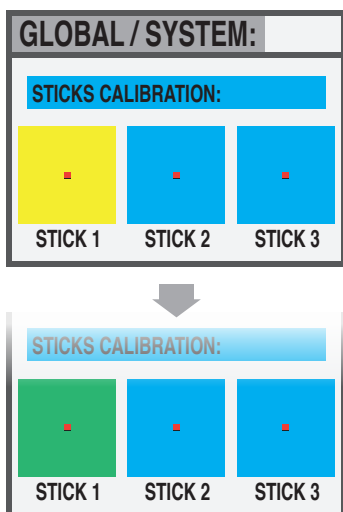
この機能を選択し、エンコーダーを回転させると、すべての有効なゾーンを -12~+12 セミトーンの範囲で移調することができます。

PANIC (パニック)

(機器に接続された外部機器からの) ノートやコントロールが鳴り止まない場合などの障害が発生した場合、このコマンドを押すことにより、「オールノートオフ」メッセージがすべてのデバイスに送信され、正常な機能を回復します。

RESTORE (復元)

この機能は、機器のすべての初期設定を復元します。すべてのプログラミングが復元されるため、この機能は本当にその必要性がある場合にのみ行ってください。また、復元操作を行う前には、必ずすべてのプログラムを保存してください。

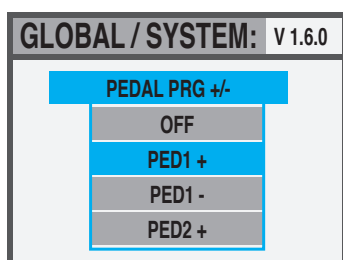


STICKS CALIBRATION (スティック・キャリブレーション)

最初のページでは 3 基のスティックのアイコンは青で表示されます。4 辺に沿って移動し、関連領域の端に到達すると、実際の範囲を確認することができます。

スティックのキャリブレーションを行うには、スティックを押してください。エリアが黄色になります。四辺に沿ってスティックを動かし、正確にコントロール領域の四辺に到達させます。この動作は少なくとも 2、3 回繰り返してください。

スティックの操作後、スティックを再度クリックします。領域は緑色になり、キャリブレーションが終了したことを確認することができます。

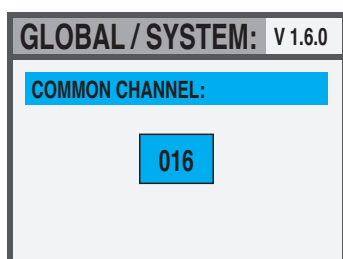


PROGRAM +/- (ペダル・プログラム機能)

この機能は、Ped1 または Ped2 に接続されたシングルスイッチタイプのペダルを使って、SL シリーズのプログラムを増減することを可能にします。使用可能な設定は次のとおりです：

- **OFF**：機能無効
- **PED1+**：Ped1 に接続されたペダルを踏んで、現在のプログラムを1つ進めることができます(例：プログラム 001 から 002 へ)
- **PED1-**：Ped1 に接続されたペダルを踏んで、現在のプログラムを1つ戻すことができます(例：プログラム 002 から 001 へ)
- **PED2+**：Ped2 に接続されたペダルを踏んで、現在のプログラムを1つ進めることができます(例：プログラム 001 から 002 へ)
- **PED1-**：Ped2 に接続されたペダルを踏んで、現在のプログラムを1つ戻すことができます(例：プログラム 002 から 001 へ)
- **PED1/2 +/-**：Ped1 と Ped2 に接続された二つのペダルで、現在のプログラムを進めたり戻したりすることができます
- **PED1/2 EXT**：この設定では、USB 端子経由で、コンピュータのソフトウェアから SL シリーズのメインプログラムをコントロールできるように、DATA インクリメントと DATA デクリメントの信号を送受信します。

注意：PED1/2 グローバル機能のひとつが有効になると、各プログラムの関連するペダル設定はこの PROGRAM +/- 機能に上書きされ、ゾーンプログラミングがグレーアウトします。関連するグローバルペダル機能を OFF にすると、元のペダルのゾーン設定が再び有効になります。



COMMON CHANNEL (コモン・チャンネル)

コモン・チャンネルは、単一のゾーンに直接関連するものではなく、SL シリーズとの間で汎用コントロールを送受信するための MIDI チャンネルです。コモン・チャンネル（使用可能な 16 MIDI チャンネルのうちの一つに設定されている）が必要な機能は、PROGRAM +/- (ペダル・プログラム機能) です。

以下の値から選択できます。

- **OFF**：コモン・チャンネルは有効になっていません
- **01/16**：コモン・チャンネルに設定されている MIDI チャンネルを表示します（多くの場合、16 チャンネルが使われます）

ファームウェア・アップグレード

新しい公式ファームウェアバージョンが Studiologic によって公開された場合を除き、SL ファームウェアは、通常更新する必要はありません。(主な機能、パラメーターまたはオペレーティングシステムの改善を意図した)ファームウェアを更新する手順と、SL を更新するための専用ソフトウェアは、関連する説明と手順と共に、弊社のサイト上で公開されます。

アップグレードモードに入るには、IN ボタンを押したまま、機器の電源を入れます。

SL Editor

SL Editor は、専用のソフトウェア・アプリケーションで、当社の公式サイトからダウンロードすることができます。非常に直感的でインタラクティブなユーザーインターフェイスで、すべての SL パラメーターを編集することができます。SL が(USB 経由で)コンピューターに接続され、SL Editor が開かれている場合、通信がリアルタイムに設定され、すべての編集内容が直接 SL に送信されます。

以下の画像は利用可能な機能の例です。



MAIN PAGE (メインページ)



ORGANIZE (オーガナイズ)



KEY BALANCE (キーバランス)



SL CURVES (SL カーブ)

Warranty

保証について

すべての Fatar 社 Studiologic の製品は、細心の注意を払って製造、測定、動作テストを行っています。これにより、2年の保証期間を設けています。サポートを受けるために、お客様の SL シリーズのご登録をお願いいたします。不適切な運搬、設置、取扱いが原因による故障につきましては、保証の対象外とさせていただきますのでご注意ください。

これらは、伊 Fatar 社ならびに代理店が定める一般的条件に基づいています。機器の価格を上回る補償は、除外されますのでご了承ください。

CE-Conformity



FATAR srl
Zona Ind.le Squartabue
62019 Recanati MC Italy

Fatar 社は、この製品がヨーロッパの基準に従って製造された製品であることを宣言いたします。

- 2004/108//EC EMC 司令
- DIN EN 55013 音声及びテレビ放送受信機並びに関連機器における EMC radio disturbance
- DIN EN 55020 音声及びテレビ放送受信機並びに関連機器における EMC immunity

承認なく機器を改造された場合、この宣言は無効となります。

RoHS-Conformity



この製品は、2002/95/EC の基準に沿って製造されています。

Disposal / WEEE



EG 指令 2003/108/EG の第一の目的は、電気と電子機器 (WEEE) の浪費の防止です。それに加えて再利用、リサイクル、回収により廃棄物の削減を目標としています。環境保全のためにご協力をお願いいたします。

State of the art

最良の品質を保証するために、Fatar 社製全ての Studiologic 製品は、最新の技術で設計されています。告知なく、アップデート、仕様の変更、改良等を行う場合がございます。技術仕様ならびに製品の外観は本マニュアルと異なる場合がございますので、ご了承ください。

Trademarks

本マニュアルの全ての商標はそれぞれの所有者に帰属します。

Copyright

本マニュアルの一部もしくは全部を、著作権利者の許可なく、いかなる形式において複製、転送することを禁止いたします。

FATAR Srl
Zona Ind.le Squartabue
62019 Recanati, Italy

製品仕様

Studiologic SL		
Keyboard	Number of Keys	88 -73
	Type	Hammer action with Aftertouch Grand: TP/40 WOOD Studio:TP/100LR
	Velocity Curves	3 default velocity curves + fixed curve with programmable value 6 editable user's velocity curves
Display	Type	Color graphic LCD - TFT
	Resolution	320 x 240
User Interface	Rotating Encoder	4 navigation controls + 1 function switch
	Function buttons	IN/OUT/HOME
Inputs	4 pedals	2 switch + 1 continuous + 1 multi
Connections	MIDI	In - Out1 - Out 2
	USB	Midi In/Out, USB to HOST
Power Supply	DC IN	9V - 1A
	Adapter	Input:100-240V Output: 9V-1A
Weight		SL88 Grand; 20,8 Kg / 45,8 lbs SL88 Studio: 13,7Kg 30,2 lbs SL73 Studio: 11,5Kg 25,3 lbs

サイズ

SL88|GRAND

共通

SL88|STUDIO

幅：1260mm x 奥行き：310mm x 高さ：125mm

SL73|STUDIO

幅：1040mm x 奥行き：310mm x 高さ：125mm

製品サポートについて

本書をご覧いただいても解決できない問題がございましたら、Dirigent カスタマーサポートまでご連絡ください。

なお、サポート・サービスをご利用いただくためには、Dirigent へのユーザー登録が必要です。登録の確認ができない場合、サポート・サービスをご利用いただくことができません。予めご了承ください。

■ Dirigent へのご登録方法：

Dirigent サポートページにアクセスし、Studiologic オンライン登録フォームよりご登録をお願いいたします。

■ Dirigent カスタマーサポート：

お問い合わせは、Dirigent サポートサイトのお問い合わせフォームをご利用ください。

- Dirigent サポートサイト：<https://dirigent.jp/support/>

J



Dirigent

日本総代理店：株式会社銀座十字屋ディリгент事業部
<https://dirigent.jp/>